

平成30年台風第8号 説明会(沖縄県)

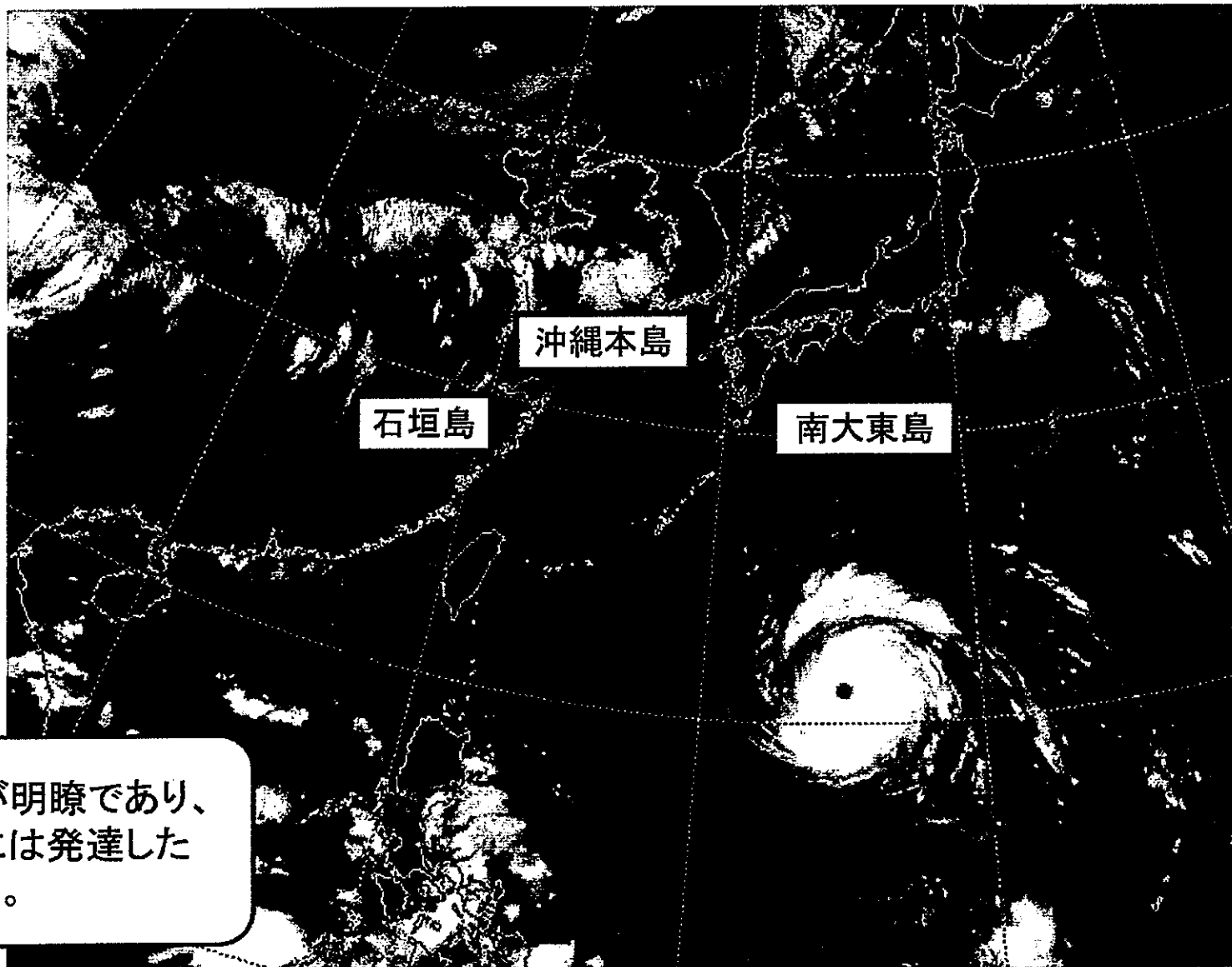
【注意警戒事項】

平成30年7月9日
沖縄気象台 予報課

- 台風第8号は、10日から11日にかけて、非常に強い勢力で先島諸島にかなり接近するおそれ。
- 先島諸島は、台風の接近に伴い暴風、高波、大雨、高潮による重大な災害が発生するおそれがある。
- 沖縄本島地方では、10日は非常に強い風に十分注意。
なお、台風の進路等によっては暴風となるおそれがある。

防災・減災に向け、早めの台風対策を呼びかけてください。

衛星画像(赤外)



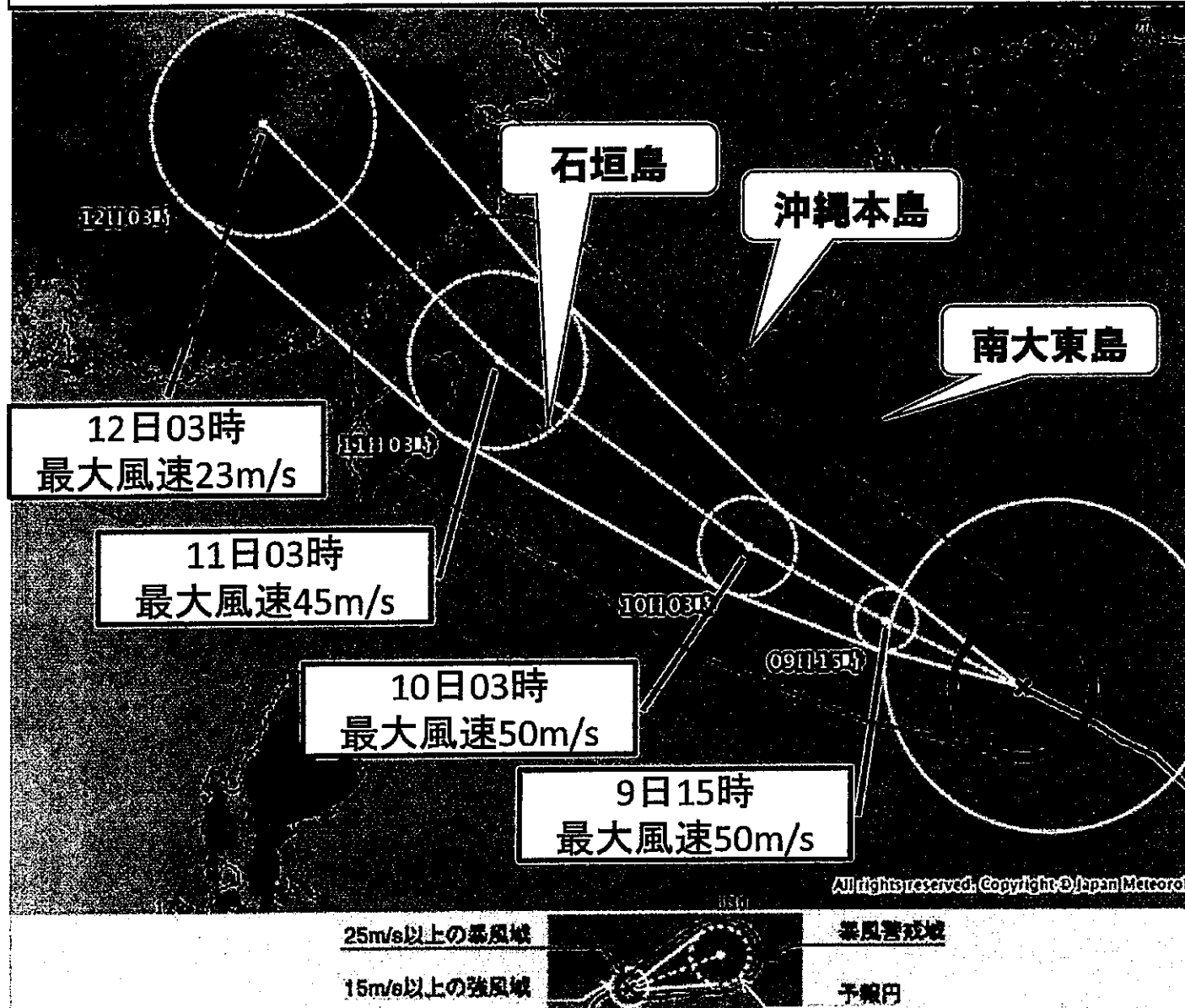
台風之眼が明瞭であり、
中心付近には発達した
雨雲がある。

7月9日03時00分

台風経路図

台風第8号(マリア)平成30年7月9日03時

10日から11日にかけて先島諸島にかなり接近するおそれがある。



台風第8号(マリア)

2018年 7月 9日03時

大きさ、強さ 猛烈な
存在地域 日本以南
中心位置 北緯 21度05分 (21.1度)
東経 135度05分 (135.1度)
進行方向、速さ 西北西 25km/h (14kt)
中心気圧 915hPa
中心付近の最大風速 55m/s (105kt)
最大瞬間風速 75m/s (150kt)
25m/s以上の暴風域 全域 150km (80NM)
15m/s以上の強風域 北東側 440km (240NM)
南西側 280km (150NM)

--- 12時間後(7月9日15時)の予想 ---

強さ 非常に強い
存在地域 南大東島の南約420km
中心位置 北緯 22度05分 (22.1度)
東経 132度05分 (132.1度)
進行方向、速さ 西北西 30km/h (15kt)
中心気圧 920hPa
中心付近の最大風速 50m/s (100kt)
最大瞬間風速 70m/s (140kt)
予報円半径 70km (40NM)
暴風警戒域 全域 220km (120NM)

--- 24時間後(7月10日03時)の予想 ---

強さ 非常に強い
存在地域 宮古島の東南東約410km
中心位置 北緯 23度05分 (23.1度)
東経 128度55分 (128.9度)
進行方向、速さ 西北西 30km/h (16kt)
中心気圧 925hPa
中心付近の最大風速 50m/s (100kt)
最大瞬間風速 70m/s (140kt)
予報円半径 110km (60NM)
暴風警戒域 全域 260km (140NM)

--- 48時間後(7月11日03時)の予想 ---

強さ 非常に強い
存在地域 与那国島の北北西約120km
中心位置 北緯 25度30分 (25.5度)
東経 122度35分 (122.6度)
進行方向、速さ 西北西 30km/h (16kt)
中心気圧 945hPa
中心付近の最大風速 45m/s (85kt)
最大瞬間風速 60m/s (120kt)
予報円半径 200km (110NM)
暴風警戒域 全域 330km (180NM)

--- 72時間後(7月12日03時)の予想 ---

強さ 中
存在地域 奄美
中心位置 北緯 28度20分 (28.3度)
東経 115度35分 (115.6度)
進行方向、速さ 西北西 30km/h (17kt)
中心気圧 990hPa
中心付近の最大風速 23m/s (45kt)
最大瞬間風速 35m/s (65kt)
予報円半径 260km (140NM)

なお 台風の中心が予報円に入る確率は70%です

台風の特徴と今後の見通し

● 特徴

- ・台風の眼が明瞭であり、中心付近には発達した雨雲がある。

● 今後の見通し

- ・非常に強い勢力で先島諸島にかなり接近するおそれ。
- ・台風が最も接近するのは、沖縄本島地方は10日朝から昼前、先島諸島は10日夜の見込み。

量的予報(風、波、雨)

7月9日 03時	強風・暴風期間				最接近	最大風速(m/s) ()内は最大瞬間風速 (m/s)		波高(m)		雨量(mm)
	強風	暴風		強風		9日(月)	10日(火)	9日(月)	10日(火)	
	始まり	始まり	終わり	終わり						
本島北部	10日 未明			10日 夜	10日 朝から昼前	北東 13(25)	東 23(35)	5 うねりを伴う	9 うねりを伴う	
本島中南部	10日 未明			10日 夜	10日 朝から昼前	北東 13(25)	東 23(35)	5 うねりを伴う	9 うねりを伴う	
久米島	10日 未明			11日 午前	10日 昼過ぎから 夕方	北東 13(25)	東 23(35)	5 うねりを伴う	9 うねりを伴う	
大東島地方	9日 夕方			10日 朝から昼前	9日 夜遅く	東 18(30)	東 18(30)	8 うねりを伴う	8 うねりを伴う	
宮古島地方	10日 朝から昼前	10日 昼過ぎから 夕方	10日 夜	11日 午前	10日 夜	北東 13(25)	東 45(60)	4 うねりを伴う	12 うねりを伴う	1時間: 100 10日6時～11日6時 200～300
石垣島地方	10日 朝から昼前	10日 昼過ぎから 夕方	11日 午前	11日 午前	10日 夜	北東 10(20)	西→南西 45(60)	3 うねりを伴う	12 うねりを伴う	1時間: 80 10日6時～11日6時 200～300
与那国島地方	10日 昼過ぎから 夕方	10日 夜	11日 午前	11日 午前	10日 夜	北東 8	西 30(45)	3 うねりを伴う	9 うねりを伴う	1時間: 50 10日6時～11日6時 50～100

【注意事項】

- ①この資料は、8日09時発表の予報円の中心付近を通った場合の予想値です。
- ②強風・暴風期間は、注意報や警報の対象期間を示しており、強風域・暴風域の入出時刻と一致しない場合があります。
- ③量的に示した数値等は、予報期間が先になるほど予報精度が低下し誤差が大きくなります。
特に明後日予報については、今後の台風の進路や発達・衰弱により変更される場合がありますので、常に最新の情報を確認してご利用ください。なお、この資料は当説明会のみでの提供とさせていただきます。

防災上の注意・警戒事項

● 暴風・強風

- ・先島諸島は、10日昼前から非常に強い風が吹き、10日昼過ぎには暴風となり猛烈な風が吹くおそれ。暴風に厳重に警戒。
- ・沖縄本島地方は、10日未明から強い風が吹き、10日朝は非常に強い風が吹く見込み。強風に十分注意。台風の進路等によっては暴風となるおそれ。

● 波浪

- ・先島諸島は、9日朝から大しけとなり、10日昼前には猛烈にしける見込み。
- ・沖縄本島地方は、10日未明から大しけとなり、10日昼前には猛烈にしける見込み。
- ・大東島地方は9日夕方から大しけとなる見込み。
- ・沖縄地方は高波に厳重に警戒。

防災上の注意・警戒事項

● 大雨

- ・先島諸島は10日は警報級の大雨となる見込み。
- ・宮古島地方は1時間に100ミリ、八重山地方は1時間に80ミリの猛烈な雨が降る見込み。（先島諸島では、これまでの大雨で地盤が緩んでいる所がある）

先島諸島では土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒

● 高潮

- ・先島諸島は10日から11日にかけて台風の進路や発達状況によっては、高潮警報を発表する可能性がある。浸水や冠水に警戒。（大潮の時期（13日前後）にあたる。）

● 雷・突風

- ・沖縄地方は9日から11日にかけて落雷や竜巻などの激しい突風のおそれ。

防災気象情報の発表予定

●気象情報

沖縄気象台

- ・地方気象情報 ⇒ 現在6時間毎に発表(次回10時30分頃)、
9日18時観測から3時間毎に発表予定
- ・府県気象情報 ⇒ 9日9時観測から6時間毎、
9日21時観測から3時間毎に発表予定

※状況に変化があり、特に喚起する場合には随時発表します

※地元気象台が発表する府県気象情報をご利用願います

●警報発表の見通し

＜暴風＞先島諸島:10日朝

沖縄本島地方:台風の進路等によっては10日午前

＜波浪＞大東島地方:9日昼前

沖縄本島地方:9日夜のはじめ頃

先島諸島:10日未明

●記者会見(重大な災害が発生するおそれ大きい場合)

9日午後

台風への備え

自然災害による被害を防ぐには、普段からの備えや正しい情報の入手が重要です。自然災害による被害を未然に防ぐために正しい知識を身につけ災害に備えましょう。

家の外の備えを行う(大雨が降る前、風が強くなる前に済ませましょう)

- 窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強しましょう。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、屋内へ格納しましょう。

家の中の備えを行う

- 非常用具を確認しましょう。(懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池式)、救急用品など)
- 室内からの安全対策をしましょう。(窓ガラスに飛散防止フィルムやテープなどを張ったり、カーテンやブラインドを下ろすなど)
- 水の確保をしましょう。(断水に備えて飲料水を確保したり、浴槽に水を張って生活用水を確保するなど)
- 非常用食品を準備しましょう。(乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など)

避難場所の確認を行う

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しましょう。
- 日頃から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
- 避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしましょう。

気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」など情報の入手を行う

- 気象台では、台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生する恐れがあるときには、「台風情報」や「警報・注意報」を発表します。テレビやラジオ、気象台ホームページから最新の情報を入手してください。

台風接近中は不要な外出は控え、危険な場所へは近づかない！

- 雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくくなり、転落事故などが発生します。また、山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなります。日頃は安全とされている場所でも油断せず、危険な場所へはむやみに近づかないようにしましょう。
- 台風が接近し暴風となると、風により物が飛ばされたり、飛んできた物にぶつかったり、車が転倒したりするおそれがあります。また、風に煽られてドアや扉に手や指を挟まれるなどの被害も発生します。不要な外出は避け、台風が過ぎ去るのを待ちましょう。また、海上や海岸付近では台風接近前から波が高くなり、台風が通過した後もしばらくは波が高いことが多いです。台風接近時は海上や海岸付近に高波を見に行くなど危険な事はやめましょう。

沖縄気象台のホームページに載っています。